

「循環型社会の構築とメルカリネイティブ」

へのコメント

経済産業省 商務情報政策局

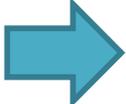
アーキテクチャ戦略企画室長

(併) デジタル高度化推進室 (DX推進室)

和泉憲明

【ご質問】メルカリ・メルペイは、どのような変革（DX）を加速するのか。

- 今や、UberやAirbnbとならび、ディスラプション（創造的破壊）をおこす企業として位置づけられているところ、我々の生活をどう変化させているのか、因数分解してみたい。
- ✓ **【データとデジタル技術を活用している典型的なデジタル企業】**
単なるスマホアプリではなく、バックエンドの技術面（データとデジタル技術）が生命線ではないか。典型的には、商品検索の精度など。
 1. **【作ったモノはアプリではなく顧客体験】**
特徴は、マーケットプレイスがオンラインであることではなく、フリーマーケットへの出品の敷居を下けているという観点。変革パターンのひとつは、敷居を下げることはないか。
 2. **【C2Cの2次流通が1次流通へ逆影響】**
典型的なリユース市場ではあるが、C2Cであるため、仕入れを前提としていない。しかも、2次流通の確立が、1次流通の敷居を下けている、という現実。
 3. **【顧客接面から決済と物流を統合している】**
「あと払い」はキャッシュレスならではの機能。信用リスクの評価も重要だが、チャージなどの煩雑さからの解放の意味も。また、物流の仕組みまで含んでいることがポイントか。

 改めて、メルカリ・メルペイが目指すデジタル市場とはどのようなものか、お伺いしたい。